

5. ライフイノベーションに資する戦略的な技術開発

今後の方向性

- ①高齢化社会の疾病(がん等)に対応した薬を作れる創薬力の強化
- ②日本の強みを活かした医工連携の強化
- ③世界的な潮流である医療革新への対応

身体・臓器機能の代替・補完

・肝細胞技術を活用した臓器等の代替技術の導入 等

がん等の重要な疾患の
予防、改善及び治癒率向上

・ITやゲノム情報を活用した個別化医療の導入
・難治性疾患向けの高度治療技術の導入 等

高齢者及び障がい児・者が
自立できる社会の実現

・現場ニーズを踏まえた介護機器の導入 等

革新的医薬品製造技術

幹細胞実用化
評価基盤

次世代医薬品
創出基盤

革新的医療・福祉機器

がん超早期診断
・治療機器

医療用超電導
加速器

ロボット
介護機器

国内普及・海外展開、日本企業の競争力を意識した産学官のベストの布陣による総力戦
関係省庁一体となって技術開発、知財管理、標準化、制度構築等を推進
スピノフ・テクノロジーが次々に誕生し、新たな産業構造へ

日本再生戦略、医療イノベーション5カ年戦略

6. 「価値創造経済」への転換による、「稼げる」産業・企業群の創出

今後の方向性

「大量生産・価格競争」の成長モデルから脱し、グローバル市場を獲得できる「稼げる」ビジネスモデルを構築。そのための研究環境整備を推進。



- ・海外の「知」を取り込む国際共同研究
- ・我が国の優れた技術を海外展開する研究開発・実証 等

●エネルギー環境技術分野で、米国研究機関等との間で国際共同研究・標準化プロジェクトを実施し、技術の迅速な確立・普及を推進 等



- ・産学官連携の促進による新たな産業の創出・優れた研究開発人材の育成
- ・研究開発の空洞化防止のための研究開発拠点の整備 等

●大学等の先行的な産学連携拠点において、産学連携活動の評価制度を確立し、知財権の運用ルールや人材流動化を促進させる制度改革モデルを構築

●理系修士・博士課程を対象とした中長期インターンシップのマッチングの枠組みを構築 等

参 考

■ グリーンイノベーションの主要施策概要

■ ライフイノベーションの主要施策概要

■ 「価値創造経済」への転換による、「稼げる」産業・
企業群の創出の主要施策概要

■ 研究開発法人の戦略的な目標等
(産総研、NEDO)

■グリーン① 再生可能エネルギー貯蔵・輸送等技術開発

【平成25年度概算要求額：28.5億円（うち特別重点要求：23.0億円）（新規）】

○国内外における再生可能エネルギーの大規模利用を実現するため、再生可能エネルギー等を低コストで水素等のエネルギー媒体に転換する技術や、水素等に転換されたエネルギーを長距離輸送するための技術等を開発。並行して、これらの技術を活用したシステムの導入・普及に向けたシナリオを検討。

○水素製造技術開発、再生可能エネルギー現地調査、トータルシステムシナリオ検討については経済産業省が中心となって実施。他方、エネルギーキャリアへの転換・利用・輸送技術や先進的な水素製造方法の基礎研究については、文部科学省が中心となって実施。基礎研究については、実用化の可能性が見えた段階で経済産業省が実用化研究へ発展させることを想定。

